



日刊日曜日... 常識講座

常識講座

アリモニーは離婚、別居の妻に與ふる扶助手切金だ、金のあり相な男と結婚し勝手氣儘をなし離婚となると莫大な切金を受けしめ様とする女をアリモニー・ハンター(獵)と稱する

共販出荷九九六俵

相場は弱保ち合か 入札側に於ける一般觀測

全國書道展

平市で来る九日 平市聯合書道會は同市の誕生を記念し同會第二回の全國書道展を来る九日に開催の筈で諸準備中である

講堂の地鎮祭

工費二萬八千圓 石城郡勿來町では工費二萬八千圓で同町小學校講堂と公會堂を兼ねる講堂建築を決定し來る三日午前十時開田校協の敷地に地鎮祭を執行するが設計は九間に二十一間の木造平家建である

體育大會の協議

石城郡第三區平市部十六ヶ校の體育大會は本月二十四日の平市高月嶺で開催されるが右に關し明日午後一時平市第一校會館に各校主任會を深くと

女教員遊戲講習

石城郡下の女教員會は来る夏季休暇中の八月一日から二日間平市第二小學校講堂に於て遊戲の講習會を開催の筈であるが講師は東京市立第六高等女學校教諭鈴木たけ子女史である

立候補是で最終か 本日迄に五十一名

一名辭退したが亦一名出馬 時期を失つた辭退の組

平市議の立候補者は昨日の現在五十一名に對し別項所報の如く阿部氏の辭退で五十名となつたが今日平市選開から鈴木庄之助氏が出馬したのでまた五十一名に復した選舉期日まで剩すところ九日となつた今日では是れで最終らしく尙は今日一日中途辭退の意で市役所に其の日を問ひ合す候補者もあつたが不要な時期遅れで止むを得ず最後まで戦ふことになつたものもある模様である、今回の立候補者を年令で分へば最年長者は松崎隆治(三)氏で最年少は大井川幸隆(五)氏であるが五十才以上のもの三十名を數えられ年令總數二千六百二十五年を五十一名に平均すれば五十一才強に當つてゐる

阿部候補の辭退

平市議選舉に立候補した政友(新派)の大御所阿部政右衛門氏は今回の候補者中有り視された一人であるが昨日三十日午後突如立候補を辭退し殊に同派の爲め其の退讓を惜まれてゐる阿部氏の辭退は選舉告示以前有権者數名と會見した際何氣なく語り合つたと云ふことが今回の立候補で端なくも逆風に抵抗する疑ひを受けられ其の筋の取調へを受けたこと衆望に起つて不健康の身を押し出して見たが豫て附臥の心身に障るものも多く加ふるに前選の折柄荷且にも所記の嫌疑を不徳とし人格的な同氏の立場から遂に辭退するに至つたものである

四倉選舉違反 判決言渡

四倉町々議小次郎(三)の選舉違反は昨日三十日の公判で左記の如く言渡された 懲役七ヶ月追徴金七十圓小次郎(三)罰金二百圓追徴金二十圓小次郎(三)懲役

夏休行事

平市の第一、二、三小學校では来る夏休み中の行事を夫々協議されてゐるが大休左記に決定した

今日立候補届

平市議今日一日の立候補届は平市選開の左記で尙ほ同地の候補矢吹初彌氏は關場益一氏を事務長に職陣を整へた

内郷村の選舉違反に罰金五十圓

石城郡内郷村の内町馬目泰盛(三)は同村に於ける過般の村議選舉に當り候補者鈴木常彌氏の事務長となり戸別訪問の際取調へを受け去る二十九日平市選開金五十圓に處さる

親切第一の 平驛に感謝状

旅中の病女から 平驛の従業員は山崎驛長の指示を依り旅客に對する親切第一主義をとつてゐるが此の程同驛長の許に東京市大森區新井宿の九四二熊谷きよみよさん(三)から感謝状が届いた

脅迫状

四十男の執念 平市市材木町飲店長久保國安方同居人生方保吉(四)は日頃國安の娘は(三)假名に思ひに悔む

未練の妻

復讐を迫つたが拒絶され腹割せ願ふ 湯本町の三浦六長合資會社社長長屋青柳作一(四)から去る昨日午後一時頃殺して呉れたといふらしい女の悲鳴するを聞きつけた巡邏中の駐在巡査が駆けつけて見ると作一(四)は妻茨城縣大津町生れ關は(三)が出刃庖丁を携へ疊の上に大の字になり夫を罵倒してゐるので次第を質すと女は邪推が深く作一(四)が腹割金を溜めて纏て追ひ出すだらうとか何につけても疑りを持つため不快でたまらぬ夫と相談の上正式に別れたものを未練の妻と云ふが當日復讐を迫つたが拒絶された腹割せに斯の仕末と判り巡査から當分別居するやう仕方があるまいと諭されて落着いた

- 筆隨 目黒祐天寺より (勿來文庫雜抄) 鮫川漁史 (19) 淨土宗、善昌寺末、悟眞院、同斷、高月、眞言宗、藥王寺末、阿遮院、同斷、同末、不動院、同斷、久保町、同斷、寶性院、同斷、行藏院、淨土宗、尊稱寺末、九品寺、同斷、梅香町、同斷、本山修驗、光明寺末、主

